

ホタテガイ 養殖管理情報

(地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所
ホタテガイ振興室、漁場環境部
青森県 青森水産事務所
むつ水産事務所
水産振興課
青森市水産振興センター

中層（10～15m層）の水温が20℃を超えてきたので、新貝および成貝の施設は水温の低い下層へ沈めましょう

- 1 海況
- 7月5～14日の各ブイの水温は図1のとおりで徐々に上昇しており、中層（10～15m層）でも20℃を超える地区が見られてきました。
- 2 養殖管理の注意点
- ホタテガイ新貝および成貝は、20℃で成長が止まり、それ以降は中腸腺（ウロ）や貝柱のエネルギーを使って生命を維持しますが、水温が高くなるほどエネルギーの消耗が激しくなり、最後はエネルギー不足でへい死します（図2、3）。

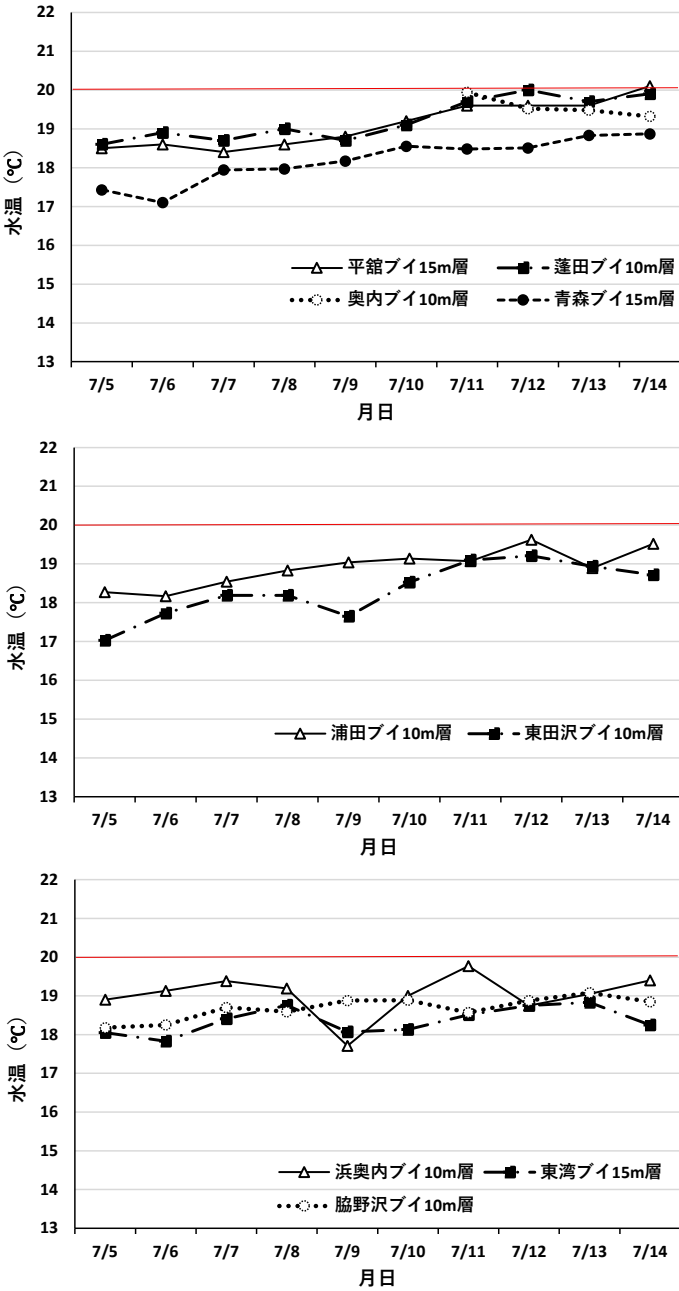


図1 海況自動観測ブイ（15m層）と水温観測ブイ（10m層）での日平均水温の変化

水温	～19℃	20℃	21℃	22℃	23℃	24℃	25℃	26℃	27℃～
1年貝（新貝）		成長鈍化				成長停止 衰弱		危険	急死
2年貝（成貝）		成長鈍化				成長停止 衰弱		危険	急死

図2 新貝および成貝の成長と生残率に与える水温の影響

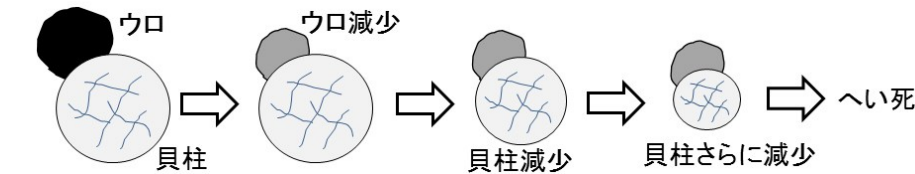


図3 高水温が続いた場合のホタテガイのへい死メカニズム

各地区で最も近いブイの中層水温が20℃を超えた場合（下記、海ナビ@あおもり）、新貝および成貝のうち、出荷する予定以外の貝は、施設をできるだけ水温の低い下層に沈めて安定させましょう。

また、異常貝はへい死しやすいことが分かっていますので、成貝向けに越夏する場合は異常貝率が低く、歩留りの良い貝を用いるようにしましょう。